

日中戦争と戦時体制

平安

鎌倉

室町

安土桃山

江戸

明治

大正

昭和

平成

今日の問い

日中戦争は、日本国内の政治や人々の生活をどう変えていったのだろう。

下線に当てはまる語句を書こう。同じ番号には同じ語句が入る。左の欄の説明もヒントにしよう。

1 日中戦争の始まりと拡大

長期化する戦争

① 1937年、北京近くで日中両軍が衝突した事件。

② 1937年から本格化した、日本と中国の全面的な戦争。

④ 南京占領のさい、日本軍が捕虜や住民を殺害した事件。

満州国をつくった日本は、さらに中国北部へ勢力を広げようとした。中国では、対立していた国民政府と共産党が、1936年の西安事件をきっかけに内戦をやめ、日本に対抗するため協力する動きを強めた。1937年7月、北京郊外で日中両軍が衝突する _____ が起こった。これをきっかけに戦いは中国各地に広がり、 _____ が始まった。日本は正式な宣戦布告をせず、当時は「事変」と呼んでいた。

1937年8月には上海でも戦いが始まり、日本は大軍を送った。日本軍は上海から進み、1937年12月に国民政府の首都 _____ を占領した。このとき日本軍は、捕虜だけでなく女性や子どもをふくむ多くの住民を殺害した(_____)。犠牲者の数については、今も研究者の間で意見が分かれている。国民政府は奥地の _____ に移って抵抗を続け、戦争は長引いた。

日本は占領地に日本に協力する政権をつくろうとし、1940年には南京に汪兆銘を首班とする政府をつくらせた。しかし中国の人々の抵抗はやまず、戦争は終わりが見えなかった。

ろこうきうじけん
盧溝橋事件
1937年7月

日中戦争
戦いが各地に広がる

南京占領
1937年12月

長期化
国民政府は重慶へ

2 戦時体制

国をあげた動員

⑥ 戦争のため人や物資を政府が動かせるとした法律。

⑦ 1940年、政党が解散してつくられた組織。

⑧ 地域で助け合い、たがいに見る近所の組織。

戦争が長引くと、日本は国民や産業を戦争に動員する体制をととのえた。1938年に _____ が定められ、議会の議決を経ずに、政府が勅令で人や物資を戦争に回せるようになった。軍需品の生産が優先され、生活に必要な物は不足していった。1939年には国民徴用令が出され、一般の国民も軍需工場などで働かされるようになった。

1940年には、ほとんどの政党が解散して _____ にまとめられ、議会は政府の方針を認めるだけの場になった。地域には数軒ごとの _____ がつくられ、配給や防空の訓練などを通じて、国民を戦争に協力させる役目を果たした。言論も新聞やラジオを通じて政府や軍に統制され、戦争に反対する意見は取りしまられた。戦争の費用をまかなうため、国民には貯蓄がすすめられ、物資や労働力の面でも多くの負担が求められた。

できた / 8